

	合計	8.9	62.3	11.4	128	303	60.7
14 洗面・手洗い	要支援1	2.1	14.7	1.2	56.6	2	12.5
	要支援2	4.4	30.8	4.1	92.5	5	21.7
	要介護1	3.6	25.2	3.1	84.5	26	31
	要介護2	4.7	32.9	4.1	87.8	60	65.2
	要介護3	4.2	29.4	3.2	77.4	69	75
	要介護4	5.1	35.7	3.7	72	65	78.3
	要介護5	4.9	34.3	3.6	73.3	65	80.2
	合計	4.6	32.2	3.6	78.5	292	58.5
21 敷地内の移動	要支援1	1.1	7.7	0.6	51.5	5	31.3
	要支援2	11	77	11.7	105.8	10	43.5
	要介護1	9.8	68.6	15.1	154.5	40	47.6
	要介護2	12.6	88.2	17.4	138.2	61	66.3
	要介護3	14.1	98.7	17.3	122.4	66	71.7
	要介護4	13	91	14.7	113.4	64	77.1
	要介護5	10	70	10.4	104.8	37	45.7
	合計	12	84	15.4	127.7	283	56.7
11 入浴	要支援1	9.9	69.3	6.3	63.3	5	31.3
	要支援2	9.4	65.8	7.7	81.5	13	56.5
	要介護1	13.3	93.1	11.6	87.2	50	59.5
	要介護2	16.6	116.2	13.3	79.8	62	67.4
	要介護3	12.8	89.6	15.9	124.4	44	47.8
	要介護4	13.4	93.8	10.4	77.3	44	53
	要介護5	20.2	141.4	14.1	69.7	56	69.1
	合計	15.1	105.7	13.2	86.9	274	54.9
101 職員による間接業務	要支援1	16	112	18.7	116.8	4	25
	要支援2	5.5	38.5	9.6	173.8	14	60.9
	要介護1	5	35	6	117.9	47	56
	要介護2	5.9	41.3	5.9	100.7	46	50
	要介護3	6.3	44.1	10.2	163.1	54	58.7
	要介護4	6.7	46.9	9.1	135.3	53	63.9
	要介護5	11.1	77.7	14.5	130.4	54	66.7
	合計	7.2	50.4	10.2	142	272	54.5
41 排尿	要支援1	34.5	241.5	53.4	155	4	25
	要支援2	19.8	138.6	20.8	104.9	6	26.1

	要介護1	12.5	87.5	15.4	123.3	41	48.8
	要介護2	21.7	151.9	24.7	114	50	54.3
	要介護3	25.5	178.5	21.5	84.5	77	83.7
	要介護4	21.8	152.6	18.3	83.9	58	69.9
	要介護5	18.4	128.8	24.6	133.1	35	43.2
	合計	21.1	147.7	22	104.1	271	54.3
42 排便及びおむつ・パット介助	要支援1	2.4	16.8	1.1	48.8	3	18.8
	要支援2	4.9	34.3	4.1	83	3	13
	要介護1	7.6	53.2	10	132.1	15	17.9
	要介護2	15.8	110.6	22.3	140.7	30	32.6
	要介護3	18.8	131.6	31.6	168	55	59.8
	要介護4	23.1	161.7	23.9	103.4	74	89.2
	要介護5	33.8	236.6	31	91.7	78	96.3
	合計	23.2	162.4	28.1	120.9	258	51.7
15 口腔・耳ケア	要支援1	1.4	9.8	1.1	76.3	3	18.8
	要支援2	7.7	53.9	9.2	119.4	5	21.7
	要介護1	3.9	27.3	3.7	95.6	24	28.6
	要介護2	6.4	44.8	3.9	61.1	44	47.8
	要介護3	8	56	8	100.8	61	66.3
	要介護4	8.1	56.7	5.9	72.6	55	66.3
	要介護5	9.6	67.2	10.2	106	65	80.2
	合計	7.7	53.9	7.5	98	257	51.5
32 配膳・下膳	要支援1	9.4	65.8	6.7	70.5	5	31.3
	要支援2	4.6	32.2	3.7	80.4	11	47.8
	要介護1	7.7	53.9	7.2	94	33	39.3
	要介護2	7.8	54.6	6	77	58	63
	要介護3	8	56	9.9	123.3	59	64.1
	要介護4	5.9	41.3	8.3	140.3	54	65.1
	要介護5	5.2	36.4	4.1	79.7	24	29.6
	合計	7	49	7.6	108.2	244	48.9
84 観察・測定・検査	要支援1	9.5	66.5	8.6	91	3	18.8
	要支援2	1.7	11.9	2.1	120.3	6	26.1
	要介護1	4.6	32.2	7	153.4	28	33.3
	要介護2	3.9	27.3	4.3	109.4	39	42.4
	要介護3	5.6	39.2	7.7	137.5	44	47.8

	要介護4	7.8	54.6	9.3	119.6	53	63.9
	要介護5	13.8	96.6	16.4	118.4	65	80.2
	合計	7.9	55.3	11.3	142.9	238	47.7
65 外出時の目的地までの移動	要支援1	6	42	4.5	74.5	6	37.5
	要支援2	7.8	54.6	12.8	164.2	13	56.5
	要介護1	6.1	42.7	5.9	97.5	45	53.6
	要介護2	6.2	43.4	5.8	93.4	57	62
	要介護3	8	56	10.8	135.6	54	58.7
	要介護4	5.4	37.8	5	93.2	36	43.4
	要介護5	10.5	73.5	12.5	119.2	22	27.2
	合計	7	49	8.4	120.7	233	46.7
	17 整容	要支援1	2.9	20.3	0	0	1
要支援2		2.9	20.3	1.7	58.2	5	21.7
要介護1		3.2	22.4	2.7	83.1	19	22.6
要介護2		3.5	24.5	3.5	99.2	37	40.2
要介護3		3.5	24.5	4.9	137.4	39	42.4
要介護4		4.3	30.1	5.2	120.5	38	45.8
要介護5		3.9	27.3	3.2	81.4	49	60.5
合計		3.7	25.9	4	107.2	188	37.7
22 移乗	要支援1	1.7	11.9	1	60.7	4	25
	要支援2	2.4	16.8	2.3	98.8	4	17.4
	要介護1	2.2	15.4	2.3	107.4	16	19
	要介護2	2.8	19.6	3.4	120.7	27	29.3
	要介護3	7.2	50.4	10.1	140.2	34	37
	要介護4	6.5	45.5	5.8	90.1	48	57.8
	要介護5	9.4	65.8	9.4	99.7	39	48.1
	合計	6.1	42.7	7.6	124.6	172	34.5

表 7-13 すべての要介護度の高齢者に発生したケア内容における要介護度別検定結果（要介護度別発生率降順）

発生率	要介護1					要介護2					要介護3					要介護4					要介護5										
	台					台					台					台					台										
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
31 調理	85.8	0.77	0.33	0.24	0.24	0.17	0.11	0.07	0.07	0.09	0.04	0.74	0.72	0.89	0.48	0.98	0.85	0.68	0.82	0.69	0.56										
33 食器洗剤・食器の片づけ	77.6	0.87	0.71	0.89	0.89	0.66	0.82	0.95	0.84	0.80	0.46	0.67	0.52	0.97	0.18	0.81	0.63	0.31	0.48	0.42	0.16										
18 更衣	76.2	0.70	0.39	0.07	0.04	0.17	0.50	0.83	0.01	0.01	0.14	0.02	0.00	0.00	0.20	0.41	0.36	0.25	0.92	0.05	0.04										
52 着席・ごみの処理	75.2	0.20	0.29	0.32	0.29	0.12	0.18	0.53	0.60	0.94	0.87	0.91	0.80	0.35	0.59	0.89	0.29	0.52	0.38	0.63	0.73										
51 洗濯	74.9	0.59	0.98	0.82	0.97	0.83	0.43	0.82	0.47	0.82	0.62	0.64	0.91	0.66	0.68	0.73	1.00	0.99	0.74	0.75	0.89										
34 朝食	68.5	0.87	0.97	0.82	0.35	0.24	0.12	0.77	0.58	0.14	0.07	0.02	0.65	0.04	0.01	0.08	0.02	0.00	0.52	0.11	0.31										
81 薬剤の使用	65.3	0.34	0.43	0.85	0.49	0.93	0.33	0.66	0.21	0.55	0.17	0.01	0.17	0.80	0.11	0.00	0.21	0.81	0.13	0.00	0.01										
35 水分摂取	60.7	0.35	0.39	0.88	0.96	0.75	0.28	0.81	0.10	0.06	0.19	0.90	0.04	0.01	0.10	0.57	0.72	0.59	0.35	0.00	0.02										
14 洗面・手洗い	58.5	0.45	0.58	0.33	0.43	0.26	0.28	0.65	0.88	0.89	0.69	0.76	0.21	0.49	0.08	0.12	0.45	0.53	0.70	0.15	0.24	0.80									
21 敷地内の移動	56.7	0.24	0.24	0.11	0.07	0.10	0.23	0.82	0.77	0.56	0.71	0.84	0.37	0.16	0.30	0.96	0.58	0.88	0.41	0.68	0.19	0.34									
11 入浴	54.9	0.95	0.58	0.26	0.63	0.56	0.09	0.34	0.07	0.41	0.33	0.01	0.17	0.86	0.96	0.01	0.13	0.21	0.14	0.82	0.00	0.01									
101 対象者に関する関係業務	54.5	0.07	0.04	0.05	0.06	0.08	0.35	0.88	0.90	0.80	0.68	0.06	0.68	0.54	0.40	0.00	0.86	0.68	0.01	0.80	0.01	0.02									
41 排便	54.3	0.30	0.05	0.26	0.42	0.26	0.16	0.44	0.84	0.54	0.83	0.89	0.05	0.00	0.04	0.24	0.34	0.98	0.50	0.33	0.11	0.47									
42 排便及びはむつ・ツツ介助	51.7	0.91	0.76	0.41	0.31	0.20	0.05	0.88	0.51	0.39	0.26	0.07	0.34	0.16	0.04	0.00	0.63	0.21	0.00	0.37	0.00	0.02									
15 口腔ケア	51.5	0.24	0.58	0.26	0.13	0.13	0.06	0.29	0.70	0.95	0.91	0.58	0.19	0.02	0.02	0.00	0.29	0.25	0.03	0.90	0.21	0.27									
32 配膳・下膳	48.9	0.24	0.63	0.64	0.69	0.33	0.25	0.24	0.20	0.17	0.59	0.83	0.95	0.83	0.30	0.22	0.86	0.20	0.16	0.15	0.12	0.68									
84 観察・測定・検査	47.7	0.31	0.45	0.38	0.54	0.79	0.49	0.55	0.65	0.41	0.19	0.01	0.79	0.69	0.20	0.00	0.47	0.09	0.00	0.32	0.00	0.00									
65 外出時の目的地までの移動	46.7	0.66	0.97	0.94	0.58	0.87	0.24	0.52	0.55	0.95	0.37	0.36	0.93	0.27	0.70	0.05	0.28	0.62	0.04	0.15	0.24	0.02									
22 移乗	34.5	0.89	0.91	0.78	0.15	0.21	0.04	0.96	0.91	0.21	0.28	0.07	0.78	0.02	0.04	0.00	0.02	0.04	0.66	0.20	0.06										
39 その他の会話	31.7	0.96	0.55	0.40	0.66	0.54	0.92	0.43	0.27	0.54	0.41	0.84	0.63	0.77	0.97	0.41	0.42	0.67	0.74	0.56	0.39										
53 整理整頓	27.9	0.70	0.69	0.58	0.93	0.77	0.18	0.94	0.83	0.50	0.85	0.31	0.77	0.33	0.86	0.08	0.19	0.65	0.12	0.48	0.01	0.07									
64 来訪者への対応	12.2	0.91	0.86	0.73	0.83	0.23	0.76	0.77	0.67	0.97	0.25	0.69	0.83	0.55	0.16	0.87	0.33	0.17	0.93	0.02	0.43	0.22									
56 戸締まり・火の始末・防災	10.8	0.37	0.84	0.76	0.31	0.20	0.16	0.33	0.35	0.97	0.01	0.50	0.88	0.23	0.05	0.12	0.24	0.03	0.12	0.01	0.49	0.01									

表 7-14 要介護度別ケア内容別 2人以上発生したケア

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
11 入浴							
12 清拭	*	*					
13 洗髪	*		*	*			
14 洗面・手洗い							
15 口腔・耳ケア							
16 月経への対処	*	*	*	*	*	*	*
17 整容	*						
18 更衣							
19 その他の入浴	*	*		*			
21 敷地内の移動							
22 移乗							
23 体位変換	*	*					
24 起座	*	*					
25 起立	*	*	*				
26 介助用具の着脱	*	*	*				
29 その他の移動	*	*	*	*	*	*	
31 調理							
32 配膳・下膳							
33 食器洗浄・食器の片づけ							
34 摂食							
35 水分摂取							
39 その他の食事	*	*				*	*
41 排尿							
42 排便及びおむつ・パット介助							
49 その他の排泄	*	*				*	*
51 洗濯							
52 清掃・ごみの処理							
53 整理整頓							
54 食べ物の管理	*						
55 金銭管理	*	*			*		*
56 戸締まり・火の始末・防災							
59 その他の会話							
50 その他の生活自立支援	*	*	*	*	*	*	*
61 行事、クラブ活動	*			*	*		*
62 電話、FAX、E-mail、手紙	*					*	
63 文書作成	*	*				*	*
64 来訪者への対応							
65 外出時の目的地までの移動							
66 外出時の目的地での行為	*						*
67 職能訓練・生産活動	*	*		*	*	*	*
68 社会生活訓練	*	*	*		*	*	*
69 社会生活支援のその他	*	*	*	*	*	*	*
71 行動上の問題の発生時の対応	*	*					
72 行動上の問題の予防的対応	*						
73 行動上の問題の予防的訓練	*	*			*	*	*
79 その他の行動上の問題	*	*	*	*	*	*	*
81 薬剤の使用							
82 呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置	*	*					
83 運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置	*	*					
84 観察・測定・検査							
85 指導・助言	*	*					
86 病気の症状への対応	*	*					
89 その他の医療	*	*	*	*	*	*	
91 基本日常生活訓練	*						
92 応用日常生活訓練	*	*					
93 言語・聴覚訓練	*	*	*		*		
94 スポーツ訓練	*	*			*		
95 牽引・温熱・電気療法	*	*	*	*			
99 その他の機能訓練	*	*	*	*			
101 対象者に関する間接業務							
102 職員に関する間接業務	*	*	*	*	*	*	*
109 その他の間接業務	*	*	*	*	*	*	*

\*はケア発生なし、もしくはケア発生人数が1人のみ。

## 第8章 在宅で提供者別に高齢者に提供されていたケア内容

本章では、在宅で高齢者に提供されたケアについて、要介護高齢者の主介護者である家族が提供したケアを「家族」によるケア提供、介護事業所等の職員が提供したケアを「職員」によるケア提供、ボランティア、親族等が提供したケアを「他人」のケア提供とし、これらの3者のうちの誰が、どのようなケアを、どのような要介護高齢者に提供したかを調査し、分析した結果を示した。

家族が提供したケアの62種類のケアの発生率の平均は、23.7%、職員は6.6%、他人は、0.9%であった。家族が提供していたケアは、60種類で「月経への対処」、「その他の生活自立支援」以外のケアは、発生していた。職員は、55種類のケアで発生しており、まったく発生していなかったのは、「社会生活訓練」、「その他の行動上の問題」、「職員に関する間接業務」、「職能訓練・生産活動」、「その他の間接業務」、「月経への対処」、「その他の生活自立支援」の7種類だけであった。他人によるケアは、発生率は低いが、「社会生活訓練」、「その他の行動上の問題」、「職能訓練・生産活動」、「その他の間接業務」、「月経への対処」、「その他の生活自立支援」、「電話、FAX、E-mail、手紙」、「文書作成」、「その他の移動」、「その他の医療」、「社会生活支援のその他」、「介助用具の着脱」、「その他の入浴」、「その他の食事」、「行動上の問題の予防的訓練」、「その他の排泄」、「言語・聴覚訓練」、「洗髪」、「応用日常生活訓練」の19種類以外は、発生しており、43種類のケアが発生していた。

### 1. 提供者別高齢者に提供されたケア内容

#### (1) 提供者別高齢者に提供されたケア内容別ケア発生率

##### 1) 家族によって高齢者に提供されたケア内容別ケア発生率

1週間の中で1分以上、提供されたケアを発生したとみなし、ケアの発生率を算出し、1%以上の発生したケアの発生率を表8-1に示した。

在宅で家族が高齢者に提供されたケア内容を発生率の観点から分析した。この結果、家族が提供したケアの発生率で最も高かったのは、「調理」で88.6%であった。次いで高かったのは、同様に食事に関するケアである「食器洗浄・食器の片づけ」が79.6%、「摂食」70.3%、「配膳・下膳」49.7%と食事関連のケアの発生率は高かった。「水分摂取」も62.1%と高かった。

「更衣」、「洗濯」という衣食住の「衣」にあたる基本的なケアの発生率も、それぞれ77.6%と高い発生率であった。次いで、高い発生率であったのは、「清掃・ごみの処理」で72.7%を示していた。

「薬剤の使用」の67.5%をはじめとし、「観察・測定・検査」33.3%、「運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置」は、32.5%、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」14.4%と医療や看護的なケアも発生率は高かった。

「排尿」55.3%、「排便及びおむつ・パット介助」は53.4%と排泄についても高い発生率

を示していた。

移動については、「敷地内の移動」53.7%、「外出時の目的地までの移動」34.1%、「移乗」31.5%と示され、これらも高い割合を示していた。

「洗面・手洗い」59.3%、「口腔・耳ケア」51.3%、「入浴」48.5%、「整容」36.1%、「清拭」17.8%といった清潔に係るケアの発生率も高かった。

## 2) 職員によって高齢者に提供されたケア内容別ケア発生率

職員が提供し発生したケアにおけるケア内容別ケア時間について分析した結果、発生率が最も高かったのは、「外出時の目的地までの移動」で34.3%を示した。次いで、「観察・測定・検査」33.5%、「敷地内の移動」26.9%、「基本日常生活訓練」21.0%、「入浴」20.2%であった。

1割以上の高齢者に発生していたケアは、「移乗」18.6%、「清掃・ごみの処理」17.0%、「更衣」16.4%、「排便及びおむつ・パット介助」15.8%、「対象者に関する間接業務」15.8%、「水分摂取」15.0%、「調理」13.4%、「運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置」11.0%、「清拭」10.8%であった。これらは訪問介護および訪問看護によって提供されていたものが多くを占めていた。

BPSDに係るケアは、「行動上の問題の予防的対応」が2.2%、「行動上の問題の発生時の対応」が1.8%などであり、発生率は高くはなかった。

医療的なケアについては、「運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置」11.0%の他、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」が8.0%、「病気の症状への対応」が5.4%などであり、医療的なケアの提供が一定の割合で発生していることがわかった。

このように職員が提供したケアで2割以上の高齢者に提供されており、発生率が高かったケアは、移動に係るケアと観察や測定、検査と、入浴やリハビリテーションに係るケアであった。これらは、訪問介護、訪問看護、訪問入浴等の訪問系のサービスによって提供されていたケアであった。

## 3) 他人によって高齢者に提供されたケア内容別ケア発生率

他人によって提供されたケアの発生率は、全体としてかなり低く、最も高い発生率を示したケアは、「調理」で4.0%であった。次いで、「摂食」が3.8%、「水分摂取」が2.8%で、他人によるケアは、食事や水分摂取が主なケアであった。

BPSDに係るケアは、「行動上の問題の予防的対応」が0.4%、「行動上の問題の発生時の対応」が0.2%などであり、発生率は低かった。

医療的なケアについては、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」が1.0%、「運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置」が0.8%、「病気の症状への対応」が0.8%などであった。

表 8-1 提供者別高齢者に提供されたケア内容別ケア発生率 (N=499) (上位 20 位)

	発生率(%)		
	家族	職員	他人
31 調理	88.6	13.4	4.0
33 食器洗浄・食器の片づけ	79.6	6.4	2.6
18 更衣	77.6	16.4	1.8
51 洗濯	77.6	8.8	1.8
52 清掃・ごみの処理	72.7	17.0	1.4
34 摂食	70.3	9.6	3.8
81 薬剤の使用	67.5	8.8	2.6
35 水分摂取	62.1	15.0	2.8
14 洗面・手洗い	59.3	7.0	1.4
41 排尿	55.3	9.2	1.8
21 敷地内の移動	53.7	26.9	2.6
42 排便及びおむつ・パット介助	53.5	15.8	2.4
101 対象者に関する間接業務	52.7	15.8	2.8
15 口腔・耳ケア	51.3	9.2	2.0
32 配膳・下膳	49.7	7.2	1.6
11 入浴	48.5	20.2	1.2
17 整容	36.1	7.6	1.2
65 外出時の目的地までの移動	34.1	34.3	0.8
84 観察・測定・検査	33.3	33.5	2.4
83 運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置	32.7	11.0	0.8



### (1) 提供者別高齢者に提供された合計ケア時間

1週間に高齢者に提供された合計ケア時間の提供者別の平均値は、家族が1403.4分、職員が152.7分、他人が20.2分となった。これを1日あたりに換算すると、家族が200.5分、職員が21.8分、他人が2.9分であった。

これを提供者別の割合でみると、在宅で提供されたケア時間のうち、家族の提供は89.0%とほぼ9割を占めており、職員が9.7%、他人は1.3%であった。

なお、1日に高齢者に提供された合計ケア時間の提供者別の最大値は、家族の場合が762.1分、職員の場合が233.7分、他人の場合が322.7分で、変動係数でみても他人の提供時間は671.0とばらつきがあり、中にはケア時間が長い調査対象者がいることがわかった。

表 8-2 提供者別高齢者に提供された合計ケア時間(N=499)

	1日平均(分)	1週間平均(分)	標準偏差	変動係数	最小値	最大値	割合(%)
家族	200.5	1403.4	117.6	58.6	0.0	762.1	89.0
職員	21.8	152.7	34.1	156.2	0.0	233.7	9.7
他人	2.9	20.2	19.4	671.0	0.0	312.1	1.3

### (2) 提供者別発生したケアにおけるケア内容別ケア時間

#### 1) 家族が提供した発生したケアにおけるケア内容別ケア時間

1日あたりで、ケア時間が最も長かったのは、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」で83.0分であったが、発生率は14.4%と高くなかった。次いで、「摂食」45.4分、「調理」36.3分、「行動上の問題の発生時の対応」27.3分、「排便及びおむつ・パット介助」21.6分、「排尿」20.4分、「行動上の問題の予防的対応」20.4分で、これらの発生率は、それぞれ70.3%、88.6%、14.8%、53.5%、55.3%、19.2%であった。

このように家族が提供したケアは、特に食事に係る時間が長く、しかも高齢者の多くに提供されたケアであったことがわかった。

また、「食器洗淨・食器の片づけ」、「洗濯」、「敷地内の移動」、「入浴」、「その他の会話」、「その他の移動」、「行動上の問題の予防的訓練」が1日平均10分以上、提供されていた。

このほかに、5分以上提供されていたケアで発生率が高かったのは、「更衣」9.9分、77.6%、「体位変換」8.9分、19%、「水分摂取」8.6分、62.1%、「観察・測定・検査」8.3分、33.3%、「薬剤の使用」7.8分、67.5%、「口腔・耳ケア」7.4分、51.3%、「清拭」7.3分、17.8%、「配膳・下膳」7.1分、49.7%、「清掃・ごみの処理」7.1分、72.7%、「来訪者への対応」6.3分、11.8%、「対象者に関する間接業務」6.2分、52.7%、「運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置」6.1分、32.7%、「移乗」5.4分、31.7%などが提供されていた。

「職能訓練・生産活動」8.6分、0.2%、「職員に関する間接業務」6.1分、0.4%、「その他の医療」6.8分、0.8%、「行事、クラブ活動」5.8分、1.6%、「その他の機能訓練」8.1分、1.8%、「指導・助言」5.3分、3.4%、「応用日常生活訓練」9.1分、5.2%、「外出時の目的地での行為」7.7分、6.6%、「起座」5.1分、8.6%など、提供時間の平均値は長かったが、発生率は低かった。

なお、変動係数が大きく、個人によってばらつきが大きいケア内容別ケア時間としては、「その他の食事」227.4、「金銭管理」226.4、「行動上の問題の発生時の対応」215.0、「行動上の問題の予防的対応」211.2、「起座」209.9などが示され、いわゆる BPSD に係るケアの個人差がかなり大きいことが示された。

表 8-3 家族が提供した発生したケアにおけるケア内容別ケア時間（上位 20 位）

	1 日平均(分)	1 週間平均(分)	標準偏差	変動係数(%)	N	発生率(%)
82 呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置	83.0	581.2	112.8	135.9	72	14.4
34 摂食	45.4	317.7	32.1	70.7	351	70.3
31 調理	36.3	254.3	20.8	57.3	442	88.6
71 行動上の問題の発生時の対応	27.3	191.2	58.7	215.0	74	14.8
42 排便及びおむつ・パット介助	21.6	151.5	24.9	115.2	267	53.5
41 排尿	20.4	143.0	21.5	105.1	276	55.3
72 行動上の問題の予防的対応	20.4	143.0	43.1	211.2	96	19.2
29 その他の移動	16.8	117.5	29.8	177.5	4	0.8
33 食器洗浄・食器の片づけ	15.1	105.9	11.4	75.0	397	79.6
91 基本日常生活訓練	12.7	88.7	21.6	170.2	94	18.8
59 その他の会話	12.2	85.5	16.1	131.5	143	28.7
21 敷地内の移動	11.9	83.2	15.4	129.9	268	53.7
11 入浴	11.9	83.6	11.6	97.3	242	48.5
51 洗濯	11.4	79.9	9.6	84.1	387	77.6
73 行動上の問題の予防的訓練	11.1	77.8	11.4	102.7	4	0.8
39 その他の食事	11.0	77.1	25.0	227.4	10	2.0
18 更衣	9.9	69.3	9.1	91.6	387	77.6
92 応用日常生活訓練	9.1	63.8	11.4	125.3	26	5.2
23 体位変換	8.9	62.3	11.7	131.5	95	19.0
35 水分摂取	8.6	60.5	11.1	127.9	310	62.1

## 2) 職員が提供した発生したケアにおけるケア内容別ケア時間

職員が提供した時間について、1日あたりの提供時間を分析した結果、ケア時間が最も長かったのは、「入浴」14.9分であり、発生率も20.2%と高かった。これは訪問入浴によって提供されたケアであった。

続いて、提供時間が長かったのは、「摂食」12.3分、「調理」11.1分で、これらは訪問介護によって提供されたケアであった。訪問介護においては、食事に係る時間の提供は長く、発生率も高かった。在宅で、職員によって提供されていたケアで「入浴」、「摂食」、「調理」は、10分以上の長いケアであった。これらのケアのほかに職員によって1分以上提供されていたケアは、48種類あった。

さらに、5分以上提供されていたケアで発生率が10%以上のケアとしては、「外出時の目的地までの移動」5.6分、34.3%であったが、このケアは変動係数が131.2とかなり高く、個人差が激しいケアであると推察された。「観察・測定・検査」は、4.3分で33.5%に発生していたが、これも変動係数が112.2と高く、個人差が大きかった。「基本日常生活訓練」は、6.6分で21%、「清掃・ごみの処理」は、7.9分で17%、「更衣」は、3.3分で16.4%であったが、変動係数が162と高く、個人差が大きいたことが予想された。同様に、「排便及びおむつ・パット介助」は7.4分、15.8%で変動係数が154.2、「排尿」4.3分、9.2%で変動係数が140.8、

「対象者に関する間接業務」が4.8分で15.8%、変動係数が148.2、「運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉歯科及び手術にかかる処置」が3.8分で11%、変動係数が144.7、「薬剤の使用」は、3.6分、8.8%、変動係数が167.6、「体位変換」3.5分、6%、変動係数164.8、4.6%、152.2と示され、これらの排泄や間接業務、処置、薬剤の使用、体位変換は、個人差が大きかった。

このほかに、比較的、長い時間が職員から提供されていたケアとして、「清拭」7.4分、10.8%、「その他の会話」5.9分、9.4%、「口腔・耳ケア」3分、9.2%、「洗濯」4.1分、8.8%、「呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置」7.7分、8%、「食器洗浄・食器の片づけ」3.5分、6.4%、「病気の症状への対応」3.8分、5.4%と示された。

前述したように変動係数が大きく、個人によってばらつきが大きいケア内容別ケア時間としては、「スポーツ訓練」192.9、「薬剤の使用」167.6、「体位変換」164.8、「更衣」162.0が高い値であったが、職員によって提供されたケアのほうが、家族よりも変動係数は小さかった。

表 8-4 職員が提供した発生したケアにおけるケア内容別ケア時間（上位20位）

	1日平均 (分)	1週間 平均(分)	標準 偏差	変動 係数	N	発生率
11 入浴	14.9	104.6	12.0	80.4	101	20.2
34 摂食	12.3	86.0	15.2	123.5	48	9.6

31 調理	11.1	77.8	13.3	119.2	67	13.4
55 金銭管理	8.9	62.5	4.5	50.9	2	0.4
52 清掃・ごみの処理	7.9	55.2	6.3	79.9	85	17.0
82 呼吸器、循環器、消化器、泌尿器 にかかる処置	7.7	53.8	8.2	106.6	40	8.0
42 排便及びおむつ・パット介助	7.4	52.1	11.5	154.2	79	15.8
12 清拭	7.4	52.0	7.7	103.4	54	10.8
64 来訪者への対応	7.1	50.0	5.3	74.8	6	1.2
99 その他の機能訓練	7.0	49.3	5.1	72.8	6	1.2
13 洗髪	6.7	46.8	8.6	129.2	7	1.4
91 基本日常生活訓練	6.6	45.9	5.4	81.8	105	21.0
72 行動上の問題の予防的対応	6.6	46.1	11.8	179.0	11	2.2
71 行動上の問題の発生時の対応	6.3	44.4	8.5	133.3	9	1.8
59 その他の会話	5.9	41.0	6.0	102.7	47	9.4
65 外出時の目的地までの移動	5.6	38.9	7.3	131.2	171	34.3
101 対象者に関する間接業務	4.8	33.6	7.1	148.2	79	15.8
94 スポーツ訓練	4.6	32.5	9.0	192.9	12	2.4
84 観察・測定・検査	4.3	30.3	4.9	112.2	167	33.5
41 排尿	4.3	30.1	6.1	140.8	46	9.2

### 3) 他人が提供した発生したケアにおけるケア内容別ケア時間

1日あたりで、ケア時間が最も長かったのは、「行動上の問題の発生時の対応」であり21.4分であったが、発生率はわずか0.2%で、1人に提供されただけのものであった。このように他人が提供したケアは、発生率が低いため、その平均時間の解釈については注意が必要である。

提供時間が長かった10分以上のケアとしては、「その他の会話」が15.8分、1.8%であり、「職員に関する間接業務」が13.6分、0.4%で、「来訪者への対応」が12.3分、1.4%、「食器洗浄・食器の片づけ」12.1分、2.6%、「外出時の目的地での行為」11.4分、0.2%が示された。

5分以上提供されたケアとしては、「摂食」8.3分、3.8%、0.8%、「行事、クラブ活動」7.1分、0.2%、「調理」6.9分、4.0%、「基本日常生活訓練」6.7分、1.4%、「薬剤の使用」5.3分、2.6%、「入浴」5.2分、1.2%、「清掃・ごみの処理」5.0分、1.4%が示された。

これらの発生したケアにおいて、変動係数が大きく個人によってばらつきが大きいケアとしては、「食器洗浄・食器の片づけ」269.4、「観察・測定・検査」239.5、「摂食」224.3などが示され、他人によるケアの提供に個人差が大きいことが示された。

表 8-5 他人が提供した発生したケアにおけるケア内容別ケア時間（上位 20 位）

	1 日平均(分)	1 週間平均(分)	標準偏差	変動係数	N	発生率
71 行動上の問題の発生時の対応	21.4	150.0	0.0	0.0	1	0.2
59 その他の会話	15.8	110.8	34.4	217.6	9	1.8
82 呼吸器、循環器、消化器、泌尿器にかかる処置	14.9	104.6	23.6	157.9	5	1.0
102 職員に関する間接業務	13.6	95.0	12.3	90.8	2	0.4
64 来訪者への対応	12.3	86.4	12.6	102.2	7	1.4
66 外出時の目的地での行為	11.4	80.0	0.0	0.0	1	0.2
34 摂食	8.3	58.4	18.7	224.3	19	3.8
61 行事、クラブ活動	7.1	50.0	0.0	0.0	1	0.2
31 調理	6.9	48.3	9.9	142.9	20	4.0
91 基本日常生活訓練	6.7	46.9	1.8	26.8	7	1.4
81 薬剤の使用	5.3	37.0	9.6	181.4	13	2.6
11 入浴	5.2	36.1	3.3	64.7	6	1.2
52 清掃・ごみの処理	5.0	34.9	8.9	177.6	7	1.4
72 行動上の問題の予防的対応	4.8	33.8	6.3	130.9	2	0.4
51 洗濯	4.4	30.7	5.7	129.9	9	1.8
12 清拭	4.4	31.0	4.7	106.5	4	0.8
83 運動器・皮膚・眼・耳鼻咽喉科及び手術にかかる処置	4.4	30.8	4.6	104.9	4	0.8
99 その他の機能訓練	4.3	30.0	0.0	0.0	1	0.2
15 口腔・耳ケア	4.1	28.4	7.9	196.0	10	2.0
84 観察・測定・検査	4.0	27.8	9.5	239.5	12	2.4

## 第9章 徘徊行動がある群の属性及び提供されたケア内容

本章では、アセスメント項目において「一人で戻れないことがある」にあると回答した69名を徘徊のある高齢者群として、その他の徘徊がない高齢者群と比較し、その属性および提供されたケア内容にどのような相違があるかについて検討を行った。

### 1. 徘徊のある高齢者群の属性について

#### (1) 調査項目の回答傾向の比較

##### 1) BPSD 関連本調査追加項目

##### ① BPSD 関連項目

本調査に追加された BPSD 関連項目のうち徘徊の有無によって統計的有意差があったのは、38項目で、最も徘徊の有無による差が大きかったのは、「戸締まりを忘れる」であった。「徘徊有り」の場合に「あり」と示されたのは70.1%、「徘徊無し」の場合には、25.8%であり、その差は44.3ポイントもあった。

次いで、「会話にならない」については、「徘徊有り」群においては、「ある」は64.2%、「徘徊無し」群は、23.0%で41.2ポイントの差があった。同様に、「徘徊有り」群のほうが徘徊無し群に比較して、「あり」の割合が高かったのは、「曖昧さへの対応付加」が「徘徊有り」群が80.9%、「徘徊無し」群が41.2%で39.7ポイント、「唐突な言動・行動」が「徘徊有り」群が66.2%、「徘徊無し」群が26.7%で39.5ポイント、「一人で勝手に外出」が「徘徊有り」群が47.8%、「徘徊無し」群が9.3%で38.6ポイント、「比喩を理解できない」は、「徘徊有り」群で79.1%、「徘徊無し」群で40.8%と38.3ポイント、「意思決定できない」は、「徘徊有り」群で89.9%、「徘徊無し」群で51.9%と38.0ポイント、「誤解して行動」は、「徘徊有り」群で61.8%、「徘徊無し」群で24.2%と37.5ポイント、「同時に2つができない」は、「徘徊有り」群で89.6%、「徘徊無し」群で53.9%と35.6ポイント、「途中で投げ出す」は、「徘徊有り」群で61.2%、「徘徊無し」群で27.6%と33.6ポイント、「自分勝手な行動」は、「徘徊有り」群で63.2%、「徘徊無し」群で31.0%と32.2ポイント、「情緒不安定」は、「徘徊有り」群は66.2%、「徘徊無し」群は34.3%で、31.9ポイント、「損得判断できない」は、「徘徊有り」群は、69.6%、「徘徊無し」群は、37.7%と31.9ポイントと続いていた。これらのケアは、すべて30ポイント以上の差で有意となった。

また、これらの有意な差があった項目の中でも、「意思決定できない」は「徘徊有り」群では「あり」が89.9%、「同時に2つができない」も「徘徊有り」の場合89.6%と高く、徘徊有り群においては、意思決定ができず、同時に2つができない者が、徘徊無し群よりも多いことを示していた。

このほかに、徘徊の有無によってケアの発生率の差が大きかったケアとして、「不安定な状況がある」というものについては、「徘徊有り」群は、46.4%、「徘徊無し」群は、18.2%とその差が28.2ポイントと示された。同様に、「安全判断できない」は、「徘徊有り」群は、

75.4%、「徘徊無し」群は、47.2%と 28.2 ポイント、「人の言いなりになる」は、「徘徊有り」群は、44.1%、「徘徊無し」群は、16.1%と 28.0 ポイント、「多動」については、「徘徊有り」群は、34.8%、「徘徊無し」群は、7.5%と 27.2 ポイント、「気持の切替ができない」は、「徘徊有り」群は、45.6%、「徘徊無し」群は、21.0%で、24.5 ポイント、「閉じこもり」は、「徘徊有り」群は、51.5%、「徘徊無し」群は、28.7%で、22.8 ポイント、「昼間の閉じこもり」は、「徘徊有り」群は、51.5%、「徘徊無し」群は、29.9%と 21.6 ポイントの差があった。

これらについても徘徊の有無によって、有意な差があり、2群の行動の差が示された項目であった。

表 9-1 徘徊の有無によって統計的有意差があった BPSD 関連項目の「あり」の割合  
(徘徊の有無による割合の差降順)

		徘徊有り	徘徊無し	徘徊の有無の差
		(N=69)	(N=425)	
		%	%	
戸締りを忘れる	ある	70.1 <sup>1)</sup>	25.8 <sup>4)</sup>	44.3
会話にならない	ある	64.2 <sup>1)</sup>	23.0 <sup>5)</sup>	41.2
曖昧さへの対応不可	ある	80.9 <sup>2)</sup>	41.2 <sup>5)</sup>	39.7
唐突な言動・行動	ある	66.2 <sup>2)</sup>	26.7 <sup>6)</sup>	39.5
一人で勝手に外出	ある	47.8	9.3 <sup>7)</sup>	38.5
比喩を理解できない	ある	79.1 <sup>1)</sup>	40.8 <sup>8)</sup>	38.3
意思決定できない	ある	89.9	51.9 <sup>5)</sup>	38.0
誤解して行動	ある	61.8 <sup>2)</sup>	24.2 <sup>7)</sup>	37.5
同時に2つができない	ある	89.6 <sup>1)</sup>	53.9	35.6
途中で投げ出す	ある	61.2 <sup>1)</sup>	27.6 <sup>9)</sup>	33.6
自分勝手な行動	ある	63.2 <sup>2)</sup>	31.0 <sup>5)</sup>	32.2
情緒不安定	ある	66.2 <sup>2)</sup>	34.3 <sup>6)</sup>	31.9
損得判断できない	ある	69.6	37.7 <sup>5)</sup>	31.9
不安定	ある	46.4	18.2 <sup>9)</sup>	28.2
安全判断できない	ある	75.4	47.2 <sup>9)</sup>	28.2
人の言いなりになる	ある	44.1 <sup>2)</sup>	16.1 <sup>6)</sup>	28.0
多動	ある	34.8	7.5 <sup>9)</sup>	27.2
気持の切替ができない	ある	45.6 <sup>2)</sup>	21.0 <sup>6)</sup>	24.5
閉じこもり	ある	51.5 <sup>3)</sup>	28.7 <sup>5)</sup>	22.8

屋間の閉じこもり	ある	51.5 <sup>2)</sup>	29.9 <sup>5)</sup>	21.6
孤独を嫌がる	ある	44.9	25.4 <sup>5)</sup>	19.6
無断借用	ある	23.2	4.0	19.2
意味の独り言等	ある	30.9 <sup>2)</sup>	13.7 <sup>5)</sup>	17.1
悲観的	ある	40.6	23.8 <sup>5)</sup>	16.8
手順を変えられない	ある	39.7 <sup>2)</sup>	23.2 <sup>6)</sup>	16.5
過食等	ある	21.7	5.4	16.3
悲観的な言動	ある	45.6 <sup>2)</sup>	31.0 <sup>5)</sup>	14.5
疑い深い	ある	29.9 <sup>1)</sup>	15.9 <sup>5)</sup>	14.0
強いこだわり	ある	40.6	27.2 <sup>6)</sup>	13.4
日常動作に要時間	ある	21.7	8.5	13.3
停止	ある	24.6	12.0 <sup>9)</sup>	12.6
集団参加ができない	ある	38.8 <sup>1)</sup>	26.5 <sup>5)</sup>	12.3
破壊	ある	15.9	3.8	12.2
自殺をほのめかす	ある	15.9	4.7 <sup>5)</sup>	11.2
過剰な心配	ある	51.5 <sup>3)</sup>	41.6 <sup>6)</sup>	9.9
外出できない	ある	20.9 <sup>1)</sup>	11.6 <sup>9)</sup>	9.3
気を引くトラブル	ある	11.9 <sup>1)</sup>	5.4 <sup>9)</sup>	6.5
知覚鈍磨	ある	13.4 <sup>1)</sup>	13.0 <sup>9)</sup>	0.5

1) は、N=67、2) は、N=68、3) は、N=66、4) は、N=418、5) は、N=422、6) は、N=423、7) は、N=421、8) は、N=419、9) は、N=424。



## ② 日常生活及び社会生活関連項目

本調査に追加された日常生活及び社会生活等関連項目のうち、徘徊の有無によって統計的な有意差が示されたのは、24項目であった。

その中でも、最も差が大きかったのは、「選挙での投票ができない」であり、「徘徊有り」の場合が「できない」が89.7%、「徘徊無し」の場合が60.1%であり、その差は29.6ポイントであった。次いで、「今の時間を理解」が29.5ポイント、「貴重品管理」22.8ポイント、「独力のストレス解消」21.7ポイント、「薬の管理」21.6ポイント、「課題に合わせて自決（日常場面）」20.1ポイントの差があり、これらの項目については、すべて「徘徊の有り」群の「できない」の割合が高く、しかも、その差がかなり大きいことが示された。

一方、「徘徊無し」群の「あり」の回答が多かった項目は、「テレビを日中見ている」であり、「徘徊有り」が「あり」が40.6%に対して、「徘徊無し」が58.3%と17.7ポイントの差が示され、「徘徊無し」群において、テレビの視聴率が高いことが示された。

次いで、「片方の手を胸元へあげることが一人でできない」が、「徘徊有り」群が1.5%に対して、「徘徊無し」群が14.1%と徘徊無し群のほうが12.6ポイントも高かった。「補装具」については、「徘徊有り」群が2.9%に対して、「徘徊無し」群が13.4%と徘徊無し群のほうが10.5ポイント高かった。「外出先あり」については、「徘徊有り」群が8.7%に対して、「徘徊無し」群が19.1%と徘徊無し群のほうが10.5ポイントも高かった。

表 9-2 徘徊の有無によって統計的有意差があった日常生活及び社会生活関連項目の「あり」の発生率（徘徊の有無による割合の差降順）

		徘徊有り	徘徊無し	徘徊の有無の差
		(N=69)	(N=425)	
		%	%	
選挙での投票	できない	89.7 <sup>1)</sup>	60.1 <sup>4)</sup>	29.6
今の時間を理解	できない	59.4	29.9	29.5
貴重品管理	介助あり	94.2	71.4 <sup>5)</sup>	22.8
独力のストレス解消	介助あり	79.7	58.0 <sup>6)</sup>	21.7
薬の管理	介助あり	98.6	76.9	21.6
課題に合わせて自決(日常場面)	介助あり	85.3 <sup>1)</sup>	65.2 <sup>7)</sup>	20.1
日常の金銭管理	介助あり	95.7	75.8	19.9
交友関係の維持	できない	71.6 <sup>2)</sup>	52.0	19.6
郵便物や宅配便の処理	できない	87.0	68. <sup>6)</sup>	18.8
医療関係者(訪問者)	ほとんどない、ない	69.7 <sup>3)</sup>	51.3 <sup>8)</sup>	18.4
情報機器	介助あり	92.8	77.3 <sup>9)</sup>	15.5
バランスの取れた食事	介助あり	94.1 <sup>1)</sup>	78.8	15.3
余暇時間を楽しむ	介助あり	79.4 <sup>1)</sup>	64.2 <sup>6)</sup>	15.3
課題に合わせて自決(作業場面)	介助あり	39.7 <sup>1)</sup>	25.7 <sup>7)</sup>	14.0
課題遂行の準備(日常場面)	介助あり	89.7 <sup>2)</sup>	75.9 <sup>7)</sup>	13.8
通所・通院(日中活動)	あり	20.3	6.8 <sup>6)</sup>	13.5
助けを求める	できない	39.1	29.7 <sup>6)</sup>	9.4
交通手段の利用	介助あり	100.0	91.5	8.5
インスリンの注射	過去 14 日間に行われた	0.0 <sup>1)</sup>	5.5 <sup>10)</sup>	-5.5
たんの吸引	過去 14 日間に行われた	0.0 <sup>1)</sup>	8.9 <sup>10)</sup>	-8.9
外出しない(外出先)	あり	8.7	19.1 <sup>5)</sup>	-10.5
補装具	つけている	2.9	13.4	-10.5
片方の手を胸元へ	一人でできない	1.5 <sup>1)</sup>	14.1	-12.6
テレビ(日中活動)	あり	40.6	58.3 <sup>6)</sup>	-17.7

1) は、N=68、2) は、N=67、3) は、N=66、4) は、N=421、5) は、N=423、6) は、N=424、7) は、N=412、8) は、N=394、9) は、N=422、10) は、N=417。

## 2) 要介護認定に必要な 84 項目について

要介護認定に必要な 84 項目について徘徊の有無によって、統計的な有意差が示されたのは以下の表 9-3 に示された項目となった。

### ① 麻痺・関節制限関連

麻痺・関節制限関連項目のうち徘徊の有無によって統計的な有意差が示されたのは、以下の 11 項目であった。

徘徊の有無別にみると、とくに、麻痺\_右下肢の麻痺あり群は、「徘徊有り」群は、40.6% に対し、「無し」群は、71.0%と、「徘徊有り」群のほうが、「無し」群より、30.4 ポイント少なかった。次いで、「関節制限\_肩関節」において、「徘徊有り」群は、12.1%に対して、「無し」群は、38.4%と 26.3 ポイント少なかった。「麻痺\_左下肢」において、麻痺ありは、「徘徊有り」群で 46.4%、「無し」群で 72.4%と 26.0 ポイント、「徘徊有り」群のほうが少なかった。「関節制限\_膝関節」のありの割合は、「徘徊有り」群は、22.7%で、「無し」群は、48.2%と 25.5 ポイント、「徘徊有り」群のほうが少なかった。「麻痺\_右上肢」のありの割合は、「徘徊有り」群は、7.2%、「無し」群は、32.8%と 25.5 ポイント、「徘徊有り」群のほうが少なかった。「麻痺\_左上肢」のありの割合は、「徘徊有り」群は、10.1%、「無し」群は、32.1%と「徘徊有り」群のほうが 21.9 ポイント少なかった。「関節制限\_足関節」のありの割合は、「徘徊有り」群は、4.5%、「無し」群は、25.1%と 20.5 ポイント、「徘徊有り」群のほうが少なかった。「麻痺\_右下肢」は、「徘徊有り」群では、あり 30.4 ポイントの差があった。

表 9-3 徘徊の有無によって有意差があった麻痺・関節制限項目のありの割合  
(徘徊の有無による割合の差降順)

		徘徊有り (N=69)	徘徊無し (N=427)	徘徊の有無 の差
麻痺_右下肢	あり	40.6	71.0	-30.4
関節制限_肩関節	あり	12.1	38.4 <sup>1)</sup>	-26.3
麻痺_左下肢	あり	46.4	72.4	-26.0
関節制限_膝関節	あり	22.7	48.2 <sup>1)</sup>	-25.5
麻痺_右上肢	あり	7.2	32.8	-25.5
麻痺_左上肢	あり	10.1	32.1	-21.9
関節制限_足関節	あり	4.5	25.1 <sup>1)</sup>	-20.5
関節制限_肘関節	あり	3.0	22.7 <sup>1)</sup>	-19.6
関節制限_股関節	あり	10.6	25.1 <sup>1)</sup>	-14.5
麻痺_その他	あり	4.3	18.5	-14.2
関節制限_その他	あり	9.1	22.7 <sup>1)</sup>	-13.6

1) は、N=419

## ② 移動、複雑な動作、特別な介護、身の回りの世話等関連項目

徘徊の有無によって統計的有意差があった移動、複雑な動作、特別な介護、身の回りの世話等関連項目のうち、徘徊の有無で有意な差が示された項目は、11項目であった。

このうち「徘徊有り」の場合が「徘徊無し」の場合よりも介助が必要であったのは、「洗身」のみで有意差は3.6ポイントであった。

その他の項目は、「徘徊無し」の場合が「徘徊有り」の場合よりも介助が必要であった項目は、移動で介助が必要な割合は、「徘徊有り」群が30.4%、「無し」群が52.8%と22.4ポイント、有り群のほうが少なかった。「移乗」もまた、介助が必要な割合は、徘徊有り群が27.5で、「無し」群が46.6と19.1ポイント徘徊有り群の割合が低かった。

また、有意差が徘徊の有無によって、絶対値として大きかったのは、「両足立位保持」であり、「徘徊有り」群が36.8に対し、「無し」群が、72.0%と35.3ポイントの差が示された。

「歩行」は、「徘徊有り」群は、一人でできないは52.2%、「無し」群は、83.7%と31.5ポイントの差が示された。また「座位保持」は、「徘徊有り」群は、一人でできないは10.1%、「無し」群は、36.9%と26.8ポイントの差が示された。さらに、「起き上がり」は、一人でできないは65.2%、「無し」群は、88.1%と22.9ポイントの差が示された。

以上の結果からは、徘徊有り群は、移動、移乗、洗顔については、「徘徊有り」群は、「無し」群に比較して介助が必要の割合がかあり低いことがわかった。また、「両足立位保持」、「歩行」、「座位保持」、「起き上がり」、「えん下」といった機能は、徘徊有り群の自立度が高いことが明らかになった。

表 9-4 徘徊の有無によって有意差があった移動、複雑な動作、特別な介護、身の回りの世話等関連項目のありの割合（徘徊の有無による割合の差降順）

		徘徊有り(N=69)	徘徊無し(N=429)	徘徊の有無の差
		%	%	
両足立位保持	一人でできない	36.8 <sup>1)</sup>	72.0	-35.3
歩行	一人でできない	52.2	83.7	-31.5
座位保持	一人でできない	10.1	36.9 <sup>2)</sup>	-26.8
起き上がり	一人でできない	65.2	88.1 <sup>2)</sup>	-22.9
移動	介助が必要	30.4	52.8 <sup>2)</sup>	-22.4
移乗	介助が必要	27.5	46.6	-19.1
片足立位保持	一人でできない	82.6	95.8	-13.2
立ち上がり	一人でできない	82.6	94.9	-12.3
えん下	一人でできない	29.4 <sup>1)</sup>	40.0 <sup>3)</sup>	-10.6